

## 「第26回 ITS 世界会議シンガポール 2019」に出展 「移動の可視化」を可能にする MaaS 向けソリューションを紹介

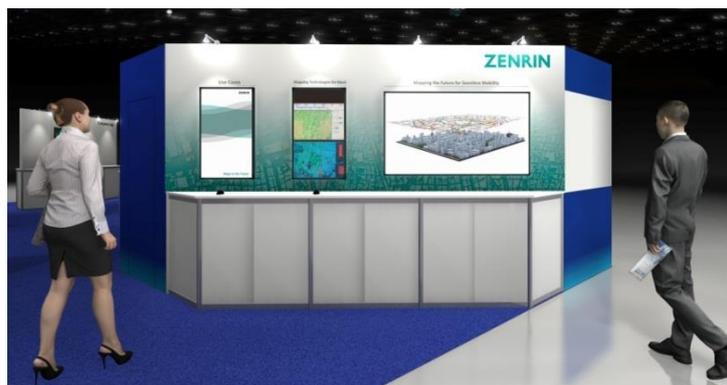
会期:2019年10月21日(月)~10月25日(金)

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山善司、以下ゼンリン)は、2019年10月21日(月)~10月25日(金)まで、シンガポールで開催される「第26回 ITS 世界会議シンガポール 2019」において、日本企業の展示エリア「JAPAN PAVILION」内にブースを出展します。

ゼンリンは、MaaS(Mobility as a Service)<sup>※1</sup> 社会の実現に必要な人々の「移動の可視化」を可能とし、モビリティとサービスの連携を高度化させる地図ソリューションを紹介します。それに伴い、今回、MaaS 時代に求められる位置情報・空間情報を最適化した地図データベース「Mobility based Network」を初公開します。また、MaaS オペレータ<sup>※2</sup> が利用しやすいサービス構想及び、MaaS 事業者様への地図情報の導入事例を紹介いたします。

※1 すべての交通手段による移動をシームレスな1つのモビリティサービスとしてとらえた移動の概念

※2 移動に関する地図・経路探索・予約・決済などのサービスを統合的に組み合わせ、利用者に提供するサービス事業者



### ■ 出展内容

#### (1) MaaS に最適化された地図データベース「Mobility based Network」

鉄道・道路・歩行者ネットワークなどを1つの空間上に表現した地図データベース。あらゆるモビリティ用途に最適化された交通ネットワークにより、各モビリティの接続点となる交通結節点<sup>※3</sup> が一元的に共有できるようになります。

※3 人や物の輸送において、同種・異種問わず複数の交通手段の接続が行われる場所

#### (2) 自動運转向け 3次元高精度地図データベース「ZGM-AUTO」

「ITS 世界会議東京 2013」で初公開し、2019年に量産化を実現した自動運转向けの3次元高精度地図データベース「ZGM-AUTO」を新開発のビューアーでより視覚的に表現しました。日本全国の高速道路・自動車専用道の最新地図データベースを紹介いたします。

#### (3) MaaS の社会実装への貢献に向けた取り組み事例

- ・WILLERS PTE. LTD.の観光アプリケーション「WILLERS アプリ」における地図データの役割を紹介。
- ・株式会社カカコム地域情報サイト「ちくわ。」と地図データの連携を紹介。
- ・東京大学柴崎研究室との地図データ活用による人流分析を紹介。

## (補足資料)

### ■ MaaS における地図の役割

ゼンリンは、「位置情報・空間情報で人々の移動をつなぐ」をコンセプトに、位置情報ソリューションを提供しています。移動における様々な課題の解決が期待されている MaaS 社会の実現においても、人々の移動の把握は重要になります。ゼンリンは、地図データの活用により、一元的な空間情報を提供することで、人々の移動と各種モビリティ、サービスを連携させ、シームレスな移動や移動者の利便性向上など、MaaS の高度化に寄与できると考えています。

ゼンリンは、これまでの ITS 世界会議を通じて、安全で効率的な人々の移動(スマートモビリティ)の実現に貢献するために様々な提案を行ってきました。自動運転向け 3 次元高精度地図データベース「ZGM-AUTO」や、様々な IoT デバイスからビッグデータを連携・活用することでリアルタイムな地図更新と情報提供を可能にする「ゼンリンマップエコシステム」の構想など、ゼンリンは常に人々の移動を地図化する研究を行っています。

今回の「第 26 回 ITS 世界会議シンガポール 2019」においても、スマートモビリティ、MaaS 社会の実現に向けた地図ソリューションの提案と、情報を可視化する基盤として地図が果たす役割を紹介します。

今後もゼンリンは、高精度な地図情報・位置情報の整備・提供と、MaaS に関わる多くの事業者様と協調した地図データベース及びサービスの開発により、MaaS 社会の実現に貢献していきます。

### ■ MaaS の社会実装への貢献に向けた取り組み事例について

#### ・WILLER「WILLERS アプリ」

すべてのモビリティをシームレスにそしてリーズナブルにつなぐスマートフォン向け観光 MaaS アプリケーション「WILLERS アプリ」を展示します。ゼンリンは「WILLERS アプリ」向けに地図データを提供しています。今後においても WILLER の掲げる「ローカルが抱える観光における 2 次交通不足やインバウンドへの対応などの課題の解決」を実現するため、地図ソリューションを提供します。

#### ※WILLER について

WILLER は、世界各地で起きている様々な社会課題を、MaaS で解決していくことを目指しています。これまで日本国内で培ってきた安全・安心・おもてなしと、新たなテクノロジーと、多くの企業とのコラボレーションにより誰もがどこへでも安心して移動できる世界を、日本を含むアジア・ASEAN において創造していきます。



#### ・株式会社カカコム(以下「カカコム」)が運営する街・おでかけ情報メディア「ちくわ。」との連携

移動の可視化を実現するためには、移動のキッカケとなる、行きたくなる場所の情報が一目でわかるような「目的地の可視化」が重要になります。特に地域情報のデジタル化及び提供は、観光客はもちろん、地域の人々の豊かな生活に重要な役割を果たします。今回は目的地の可視化に貢献するための取り組みの事例として、カカコムとゼンリンの共同企画により、地域の魅力を発信する「ちくわ。」の取り組みを展示します。

#### ※カカコムについて

「LIFE with -生活とともに-」をミッションに、購買支援サイト「価格.com」やレストラン検索・予約サイト「食べログ」など、最適な消費活動をサポートするインターネットサービスを幅広い分野で運営しています。

(カカコム コーポレートサイト URL <https://corporate.kakaku.com/>)

※ちくわ。について

街の情報を詳しく知ることができるおでかけ情報メディアです。

“街を深く知る“をコンセプトに「知らなかったけれど知っている」と嬉しい「地区と地区の繋がり」に関する情報など、週末のおでかけに役立つ情報を提供しています。

(ちくわ。URL <https://chiku-wa.jp/>)

kakaku.com



### ・東京大学 空間情報科学研究センター 柴崎研究室(以下「柴崎研究室」)との移動の分析に関する取り組み

移動の可視化を実現するためには、移動に関する人流やモビリティを地図上に重畳、分析するための技術開発が重要です。ゼンリンは交通事業者・行政等における移動の課題解決への貢献に向け、柴崎研究室(柴崎 亮介教授)との共同開発を実施しています。今回はその一例として、地図データベースを活用した人流分析の取り組みを展示します。ゼンリンは産学連携による技術開発も推進します。

※柴崎研究室について

人やクルマの移動、土地や建物とそその変化などの都市や地域のダイナミクスを、膨大に発生するデジタルデータから把握し、さらに予測、誘導する手法とその利活用のあり方を研究しています。



### ■ 展示会概要

名 称	第 26 回 ITS 世界会議シンガポール 2019		
会 期	2019 年 10 月 21 日(月)～10 月 25 日(金)		
会 場	Suntec Singapore Convention and Exhibition Centre <a href="https://itsworldcongress2019.com/congress/suntec/">https://itsworldcongress2019.com/congress/suntec/</a>	ゼンリン ブース位置	JAPAN PAVILION ブース内
主 催	Land Transport Authority, ITS Singapore	ITS 世界会議 公式サイト	<a href="http://itsworldcongress2019.com/">http://itsworldcongress2019.com/</a>

※ 記載されている社名、商品名等は、各社の登録商標、または商標です。